

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 雪害による被害農家への支援

J A 名 信州諏訪（長野県）

| | |
|-----------------|---|
| 1 動機 (経緯) | 平成 26 年 2 月の記録的な雪害による被害農家の早期復旧への人道的支援および金融面での支援 行政、J A（営農部、金融部）の連携強化 |
| 2 概要 | 大雪により被害ハウスまで行けないため、J A 役職員によるハウス周辺の除雪作業支援。 2/19～2/21 延べ 204 名による除雪作業 営農部、金融部、行政の合同会議開催（対策について） 迅速な支援対応 雪害対策資金（無利子）の創設および保証料の J A 負担 復旧作業の支援（融雪剤無料提供、パイプカッター無償貸出など） 倒壊パイプハウスなどの廃棄物無料回収 パイプハウス資材不足解消策としての加工機設置 経営体育成支援事業、市町村補助事業の申請手続きの事務支援 |
| 3 成果 (効果) | 被害農家の実態把握、金融支援策の円滑化 雪害対策資金 8 月末現在の実行（見込）13 件 30 百万円 復旧状況（ハウス被害棟数 1,328 棟－再建希望棟数 1,195 棟） 8/11 現在 施行完了 16.9%、施行中 0.2%、資材納品済 12.7%、発注済 7.5%、未着手 62.7% |
| 4 今後の 予定（課題） | 雪害対策資金（無利子）を中心とした金融支援策の継続実施、相談 被害農家の一部は、高齢や金銭面により再建断念（補助事業申請手続きの煩雑理由もあり） |